Creative Enzymes®

ネイティブ・ピキア・パストリス アルコールオキシダーゼ

Cat. No. NATE-0047

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	酵素学において、アルコールオキシダーゼ（EC 1.1.3.13）は、次の化学反応を触媒する酵素です：一次アルコール + O2 ↔ アルデヒド + H2O2。したがって、この酵素の二つの基質は一次アルコールとO2であり、二つの生成物はアルデヒドとH2O2です。この酵素は、酸化還元酵素のファミリーに属し、特に酸素を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。FADという一つの補因子を使用します。
用途	アルコールオキシダーゼは、ペルオキシソームへのタンパク質の移動を研究するために使用される場合があります。この製品はPichia pastorisからのものです。これは、Hv-p68 cDNAクローンの細菌発現および免疫学的証に使用されてきました。
別名	EC 1.1.3.13; 9073-63-6; アルコールオキシダーゼ; エタノールオキシダーゼ; アルコール:酸素オキシドレダクターゼ

製品情報

由来	ピキア・パストリス
形態	バッファー付き水溶液。pH 8.0の0.1 Mリン酸バッファーを含む30%スクロースの溶液
EC番号	EC 1.1.3.13
CAS登番号	9073-63-6
活性	10-40 ユニット/mg タンパク質（ビウレット）
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、25°Cで1分あたり1.0 µmoleのメタノールをホルムアルデヒドに酸化します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C